

- BMWジャパン、MINI「クロスオーバー」「ペースマン」等計4機種のディーゼルエンジンに不具合があるとしてリコール
14年7月1日～15年5月29日に生産した4945台
直列4気筒ディーゼルエンジンにて、タイミングチェーンの素材と表面加工の選定が不適切な為、強度が不足しているものがある。その為、エンジン作動中にタイミングチェーンが破断し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し、再始動できなくなる恐れがある。
- スズキ、「ハスラー」「ワゴンR」・マツダOEM「フレアクロスオーバー」のフロントシートベルトに不具合があるとしてリコール
17年1月31日～20年10月22日に生産した7万0780台
組立指示が不適切な為、内装部品のセンターピラートリムに挟まれ、たるんで組み付けられているものがある。そのため、衝突時にベルトのたるみ分が引き出されることで、乗員拘束が遅れて怪我が大きくなる恐れがある。
- BMWジャパン、BMW「M5」等計6車種のエンジンコントロールユニット(DME)に不具合があるとしてリコール
17年11月24日～20年9月8日に生産した1012台
DMEのプログラムが不適切な為、燃料タンク内で発生した蒸発ガスを適切に評価できないことがある。そのため、システムに異常があるにも関わらず、エンジン警告灯が点灯しない恐れがある。
- ダイハツ、「ハイゼット」「ハイゼットトラック」「ハイゼットデッキバン」「アトレーワゴン」・スバルOEM「サンバー」「サンバートラック」「サンバーオープンデッキ」「ディアス」・トヨタOEM「ピクシストラック」「ピクシスバン」のオートマチックトランスミッションに不具合があるとしてリコール
14年8月3日～20年11月6日に生産した62万4105台
電動伝達装置にて、バルブボデーが異常摩耗し油圧漏れが発生するものがある。また、油圧漏れが発生した際に、AT制御コンピュータのプログラムが不適切なため、故障検知を正しく行わないものがある。そのため、油圧漏れを正しく検出できず、そのままの状態で使用を続けると、油圧漏れが大きくなり、最悪の場合、意図せぬクラッチが係合し、一時的に急減速する恐れがある。